

令和3年

市長年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、令和3年の新春を健やかにお迎えのことと存じます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとしたイベントが中止・延期になるなど、世界の社会経済活動は著しく停滞し、本市においても、市民生活や産業・観光などのさまざまな分野・場面において大きな影響を受けました。

このような中、本市では「コロナに打ち克つ」を目標に掲げ、緊急地域経済対策として昨年末までに総額約228億円の補正予算を編成し、さまざまな対策を

講じてまいりました。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束の見通しが立たず、今後も感染防止に向けて市民の皆さまのご理解とご協力が必要でない状況にあります。ウィズコロナを意識した新しい生活様式の実践など、あらためて基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

さて、こうした状況の中でも、奥出雲町、飯南町とともに取組を進めてきました図柄入りご当地ナンバープレート「出雲」ナンバーについて、昨年5月から交付がスタートしたほか、8月には、甲子園出場を果たした平田高校野球部がはつらつとしたプレーを披露し、私たちに感動を与えてくれました。

また、国がデジタル化を推進する中、本市においてもスマートシティ実現に向け、デジタルファースト宣言を行いました。デジタルの力を市民サービスの提供や行政運営、まちづくりに最大限生かし、持続可能な都市づくりを推進していく考えです。

結びに、この一年が皆さまにとりまして健やかで、実り多い年でありますようお願い申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

出雲市長 長岡 秀人

